

富士山における火山災害減災のための仕組みづくり

【特徴】

富士山における継続的な火山観測と、噴火履歴や火口位置の調査をもとに、火山災害減災対策に資する基礎資料(噴火シミュレーション等)の提供と、それをもとにした火山防災教育の普及・啓発の仕組み作りを行なった。

【活用が見込まれる分野】

災害に強い県土・地域づくり
富士山の火山災害対策

【成果】

富士山火山防災「広域避難計画」
富士山噴火時避難ルートマップ

【内容】

地震観測などの火山活動モニタリングとあわせて、過去の噴火履歴と火口位置、噴出年代推定の調査を行う。



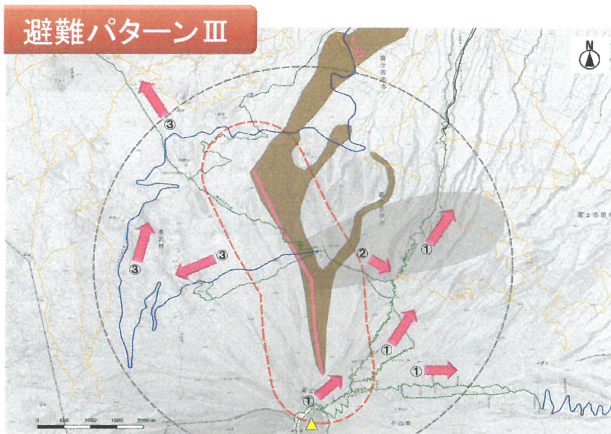
調査結果を基に想定した噴火シナリオから、溶岩流などの噴火シミュレーションを行い、避難ルートマップ作成を支援する。



火山災害減災のための普及・啓発活動を行う。



噴火履歴と火口調査



噴火時避難ルートマップの一例
富士山北斜面高標高に火口が出現、溶岩が流出した場合



防災担当者向け噴火想定防災訓練



県民向け現地研修会